

山寺(宝珠山立石寺) & 蔵王散策報告



【山行日】2018年 4月 28・29(土・日) 晴れ

【集合】栃木運動公園P AM 5:30

【費用】マイカー1台 : 19,800円

【メンバー】CL:大西 SL鈴木、石田、島田、関、
福田、渡辺

【コースタイム】28日: 栃木市運動公園 P5:30＝山寺駐車場
8:45/9:00～根本中堂～姥堂～せみ塚～仁王門～
中性院～奥ノ院～五大堂～山寺駐車場 10:40/11:00＝
「一庵」11:15/12:00＝道の駅「天童温泉」12:10/12:30＝
若松寺 12:45/1:30＝天童公園 1:50/2:30＝栄屋ホテル
2:50 泊

28日から恒例の桜の春山歩きを兼ねたお泊り山行(山寺は私にとって訪ねたいところ)です。今年はいつもとより桜の開花が早かったため、お花見の期待が薄れ新緑を楽しもうと7名で出発です。今回の旅一番の目的地「山寺」まで、連休の渋滞にはまることなく東北道は順調です。いつもの安達太良SAでトイレ休憩し、そこから目的地までよそ見することなく予定の時間に到着です。駐車場を決め身支度を整えいつものストレッチも済ませ、石段を登り根本中堂に行きお参りします。

根本中道の中には、比叡山より移された法灯が千百余年燃え続けているそうです。

姥堂に行く前に、芭蕉の句碑をよそ目に皆さん名物「カこんにゃく」を食べて気合を入れます。

姥堂は姥が見守る極楽と地獄の分かれ道を、迷うことなく極楽道へ進み、「閑さや 岩にしみ入 蟬の声」と芭蕉がしたため、納めたというせみ塚を通り仁王門を目指します。

仁王門は檜作りの優美な門で、左右に安置された仁王像が睨んでいました。

ここまで登ると先が見えてきて、あたりを見渡す余裕も出てきます。

先に奥の院を目指すことにして中性院に寄ります。江戸時代には、ここ一帯には塔頭支院が数多くあり、多くの僧が修業に励んでいたといわれています。本尊には阿弥陀如来が祀られており、賽銭箱の上には長寿を授ける「おびんずるさま」が鎮座しています。私も皆さん同様、つるつるに輝きを放している仏様を撫で長寿を祈願しました。(効き目は30年後位にわかるかな)1015段あると言われている石段を登り、奥の院・大仏殿に到着しました。

ここからの新緑の眺めは素晴らしく、念願の山寺に登れた感動が湧いてきました。

お線香を手向け、お陰様で元気に過ごせている自分の現在に感謝しました。

八重桜が咲き、華やいだ境内に参拝する人々の数が増してきたようです。

最後に、山寺随一の舞台式のお堂「五大堂」に着きました。

ここからの眺めは『日本の原風景』と思わせる山里の、のどかな風景が広がっていました。山々に囲まれた集落が見えホッと一息つきました。

五大堂の裏の林の中で、いつものコーヒータイムをとることが出来、また元気になりました。

下りは余裕があり、お賽銭を岩に埋め込み、名物カこんにゃくに再トライした人もいました。

不慣れなCLですが、思いやりを感じながら全員揃って無事参拝でき、皆さんに感謝しました。

お土産屋さんでは家族のお土産を見つけ購入する姿が“家族愛”のご利益があったと感じます。



さて、お昼を食べましょうと車に乗って、天童市一番人気のお店で名物“板蕎麦”と“ゲソ天”を食べました。お値段の割に想像以上の量が有り、食べごたえに皆さんお腹一杯でご満悦な様子です。若松寺へ向かう途中に、道の駅「天童温泉」に寄りました。果物や野菜がたくさん置かれているので、明日の朝寄って買う事にし買う物の下調べをして、今日の二番目の目的地「鈴立山若松寺」を訪ねました。



『めでた、めでたの、若松様よ…』と唄われた句碑があり、開山千三百年の歴史を持ったお寺です。

特に別名縁結びの観音様として広く知られているそうです。境内の本堂をお参りした後、裏山の展望台まで登り景色を楽しみ一息つきました。展望台から下る山道に「コシアブラ」があり、皆で夢中になり採りました。

山ではないとウォーキングシューズだが、藪の中に分け入りコシアブラを採りながら歩きます。

私はお昼の蕎麦が食べ過ぎて、まだ苦しく歩くのに難儀しました。木々に囲まれ自然の中に立つ寺院はなぜか心をホッとさせてく

れます。

訪れる人も少なく落ち着いた寺院散策ができました。

そこから車で天童公園に向かい、公園の上にある駐車場に車を止めました。先週はここで桜祭りと人間将棋が行われたとの事で公園は綺麗に清掃がなされ素晴らしい公園を歩く事が出来ました。

この後少し時間が早いのですがホテルへ向かいます。チェックインの前に着き、ロビーでコーヒーをいいただきながら休憩しました。二階の部屋に案内され、夕食までの時間に温泉に浸かり汗を流します。

時間が早く温泉に入っている人もなくのんびりと寛げました。部屋で荷物を片付けた後、男性陣の部屋でコップを傾けおしゃべりを楽しみます。明日の予定が蔵王散策となっていますが、もう少し歩きたいと思い早朝天童市内散策の提案をし、皆さんの賛同を得て全員で歩く事に決まりました。

さて六時からの夕食は小部屋に案内され、七人でゆっくり食えることができました。

料理は沢山用意されてうれしい限りです。全品平らげた私はお腹一杯となり苦しいおもいで部屋に戻ります。露天風呂に入らないと寝られないと欲張り、六階の展望露天風呂に向かいます。

展望露天風呂からは天童市街の夜景が一望出来、最高の眺めでした。

29日:市内散策 5:30/6:30～朝食 7:30 出発 9:00＝道の駅「天童温泉 9:05/9:30＝蔵王駐車場 10:40～お釜～刈田岳～蔵王駐車場 11:40＝昼食(寿司屋さん)＝栃木運動公園 P16:00 解散

早めに目が覚め五時起床の時間まで布団の中でゴロゴロしました。隣の男性陣も用意できたらしく早目に歩きだし、途中2グループに別れゆっくり街の中を歩きました。別班は昨日歩いた天童公園舞鶴山まで登り、愛宕沼の畔を歩いて来たようです。ホテルに戻り、予定通り露天風呂に入り朝食まで過ごしました。朝食は「3杯食べられる」との情報がHPに書いて有ると聞き、期待して膳に着きました。どの料理をとって



も美味しくおかわり続出ですが、流石に3杯までは及びませんでした。食後皆さんが満足の感想に、企画したCLはうれしかったです。9時出発といつもより余裕があるはずでしたが、私は飲める温泉を持ちかえる為皆さんを待たせてしまいました。ホテルの温泉は飲用となっていて、特にお通じが良くなると書いてあるので詰められるだけペットボトルに入れました。ホテルの隣が道の駅「天童温泉」で、まずは道の駅でお買い物です。サクランボや山菜など、各自昨日目星を付けたものを買いました。徳さんは鉢植えのお花を買い、大切に抱えて車に戻ってきました。道の駅を出て国道1

3号線を走り、蔵王のお釜に向かいます。山形市から蔵王高原ラインを走りましたが、桜の花や芽吹いたばかりの新緑がとても綺麗でした。

2月にスノーシューハイクに来た蔵王温泉を通り、蔵王エコーラインへ向かいます。高度が上がると道路脇に雪があり、山々の景色が素晴らしく歓声が上がります。車が多くなかつ大丈夫かなと思っていましたら、お釜に行くハイライン料金所付近で渋滞でしたが程なく駐車できました。第3駐車場へ案内されかなり歩くので、風が有るので上着を着ます。雲が多いものの直径 325m 周囲 1000m のお釜は、エメラルドグリーンの神秘的な湖面を見せてくれました。お釜や熊野岳をバックに写真を撮り、刈田岳に向かいます。さすが景勝地、観光客が多く賑やかな神社詣でとなりました。以前奥様と来たが天気が悪く何も見えなかったと言う F 田さんは、お釜を見ることが出来、刈田岳に登れ満足そうでした。皆さん揃って写真に納まり、今日の散策は終わりとなりました。



駐車場を出てエコーラインまで行くと、白石側からの車が大渋滞です。

我々は山形側から来たので、それほど待たずにハイラインへ入れましたが、反対側からは2時間以上待たされそうです。ここから渋滞をよそ目にエコーラインを下り、美味しいお昼を食べるところを探しました。

中々いい場所がなく、良さそうな店があると車がいっぱい、人も並んでいます。白石IC手前の回転寿司屋さんを見つけ、各自好きなものを頼んで食べました。

“ご馳走様”皆さん良く食べる集団です。

帰路は順調に走り心配した渋滞にも会わないで、2時間も早く帰ることが出来ました。

お疲れ様でした。また懲りずにこのようなウォーキングを企画しますので、皆さんで楽しみましょう！

大西 記